

「西区二十歳のつどい」西区長祝辞

本日、晴れて二十歳の節目を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。西区長の三村です。

皆さんの輝かしい門出にあたり、これまで皆さんを慈しみ、温かく見守ってこられたご家族や関係者の皆さんにも、心よりお祝い申し上げます。本日はいらっしゃらないので皆さんからお伝え頂ければと思います。

私は今日、この西区という街の代表として、そして皆さんのこれから的人生をすぐそばで応援し続ける、一人の伴走者としての思いを込めて、お祝いの言葉を贈らせていただきたいと思います。

皆さんが育ったこの西区は、古い歴史と新しい文化が融合し、多様な個性が共存する、非常にエネルギーに溢れた街です。そんな街で感性を磨いてきた皆さんに、今後の人生において覚えておいて欲しい、そんな言葉をお伝えしたいと思います。宜しくお願いします。

皆さんはこの年末、日本中を席巻したガールズグループ「HANA」の活躍を目にされたことでしょう。レコード大賞新人賞を受賞し、紅白のステージで堂々と踊り、輝く彼女たちの姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれました。

そんな彼女たちの物語は、あるオーディション会場の一室から始まりました。プロデューサーであるアーティスト・ちゃんみなさんは、過去に「声が低すぎる」「見た目がイメージに合わない」といった、無数の『NO』を突きつけられ、傷ついてきた参加者たちを前に、真っ直ぐ目を見てこう告げたのです。

「私は、あなたの『No』を『Yes』に変えに来た」

この言葉は、単なる励ましではありません。誰かが決めた「正解」に自分を合わせるのではなく、あなたがあなたであること、その欠点だと思い込まされていた個性こそが、唯一無二の魅力なのだ！という魂の肯定でした。あの冷たい否定の言葉に震えていた彼女たちが、自分を信じる強さを手に入れ、今日という「Yes」を勝ち取った姿こそ、まさに今、皆さんの目の前にある現実です。

しかし、その道のりは決して平坦ではありませんでした。そこで、ちゃんみなさんが彼女たちに、そして自分自身に繰り返し投げかけた、もう一つの象徴的な言葉があります。

「私たちが、これを正解にするんだ」

これは、選んだ道が「正解」かどうかを誰かに委ねるのではなく、自らの情熱と努力で、後から「正解」に作り替えていく！という、凄まじいまでの「覚悟の言葉」です。彼女たちはこの言葉を胸に、自分たちを信じ抜き、ついには紅白のステージという大きな「正解」を掴み取りました。

ここで皆さん、少し考えてみてください。

これから皆さん的人生、いつも隣にちゃんとみなさんのような圧倒的なプロデューサーがいて、背中を押し続けてくれるとは限りません。時には、たった一人で暗闇の中を歩き、自分自身でさえ自分を信じられなくなるような孤独な決断を迫られることがあるでしょう。

だからこそ、皆さんにお願いがあります。

皆さん自身の心の中に、「自分という名の、最強のプロデューサー」を育ててください。

世界中の誰が、皆さんの決断に「NO」を突きつけても、皆さんだけは「いや、これが私の正解なんだ」と自分を肯定してあげてください。

最初から「正しい道」なんて、どこにも用意されていません。皆さんのが選んだその道を、皆さんのが信じ抜き、結果が出るまでやり抜くこと！で、初めてそれは「正解」になります。自分の決断を「必ず成功させる」という不退転の覚悟を持って、一歩を踏み出してほしいと思います。

この西区は、挑戦する人を拒まない街です。もし道に迷ったときは、この街の自由な空気を思い出し、自分自身に「Yes」と言ってあげてください。

二十歳という、無限の可能性を手にしている皆さん。皆さんの「No」を「Yes」に変えられるのは、他の誰でもない、皆さん自身の覚悟です。

皆さんのこれから的人生が、自分らしさに満ち溢れ、輝かしいものとなることを心より祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日はおめでとうございます！ありがとうございました！

令和8年1月11日 大阪市西区長 三村 浩也